福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	シニアワークカレッジ運営事業							事業コード	100701660114		
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち				政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実				
	施 策 名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出						施策コード	711		
事業担当	所属	030100 市長公室経営戦略課				所属長	西躰 一欽				
会計情報	款	10教育費	項	07大学費	目	01大学振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	219・220	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	他事業を統合	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	「知の拠点」推進事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 労働人口が減少するなかで生産性を向上させるには、デジタルトランスフォーメーション（DX）による業務の効率化が重要となっている。 このため地域における労働力不足に対応するため、地域のデジタル人材を育成することによって行政、企業や事業所におけるDX推進と、シニア世代の更なる活用を目的とする福知山公立大学の情報技術の知見を活かした市民向け講座を提供する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域の企業や事業所、行政におけるDX推進と、シニア世代の更なる活用を目的として始めたが、スキルアップをめざし専門的で高度な内容の講座を設定しても受講希望者が極端に少ないことや、受講者が多い講座では受講者の理解進捗度が一定にならないなどの問題が生じる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 企業や事業所におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）とシニア世代等の更なる活用を促すために、「シニアワークカレッジ」を開設し、市内企業・事業所の従業員にリスキリング教育（学び直し）によるスキルアップに繋げる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山公立大学の知見を活用し、AIやデータサイエンスなどビジネスの現場で活用できる情報学講座を福知山公立大学に委託。 【令和7年度実施プログラム】 ・数理・データサイエンスコース：3人 ・生成AIコース（基礎）：44人 ・生成AIコース（応用）：9人 ・広報用動画制作コース：6人 ・Pythonプログラミング入門とドローンの自動操縦コース：9人

対象者	シニアワークカレッジ受講者	対象者数	71	単位あたりコスト	79.8	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	28	消耗品購入			
役務費	172	新聞広告掲載			
委託料	1,529	シニアワークカレッジ運営事業支援業務委託			
使用料及び賃借料	14	モノクロデジタル複合機賃貸借料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		2,000	1,765	3,622	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		2,000	1,765	3,622	
予算財源内訳	① 一般財源		0	803	1,754	
	② 国支出金		1,000	882	1,748	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		1,000	80	120	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		2,000	1,765		
	③ 執行額		1,714	1,743		
	④ 執行率		85.7%	98.8%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.33 / 0.80	0.21 / 0.80	/	/
	② 概算人件費		4,880	3,920		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			6,594	5,663		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
シニアワークカレッジ運営事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金）	教育費国庫補助金	341	19	
シニアワークカレッジ運営事業基金繰入金（ふるさと納税基金）	基金繰入金	1,330	38	
シニアワークカレッジ受講料(その他の雑入)	雑入	72	46	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	77.1	84.4	93.1		
	「講座で学んだ知識や技術は業務や活動にいかせる」と回答した割合	目標値		90	90	90	90	90	
		達成度	%	111%	86%	94%	103%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	58	42	38	71		
	講座受講者数	当初見込		30	64	64	50	80	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	参加者が少なかった講座を取りやめるとともに、アンケート調査等によりリスキリング教育のニーズに合わせた講座内容を大学と検討し、積極的な広報活動を行っていく。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・ビジネスチャットツール（Slack）を活用し、講座開催日当日だけでなく普段から参加者同士や講師との意見交換や質問の受付を実施していることから、講義内容だけでなく参加者のネットワークづくりなどの面においても参加者の満足度は高い。 ・コースによって参加者数にばらつきがあった。 ・受講者のレベルに差異があるため講座に対する理解進捗度が一定になっていない。
現状の課題に対する改善策	・令和8年度は「基礎編」と、そこからさらに高度なデジタル技術を学びたい人に向けた「発展編」に講座を分割して行うなどし、ニーズに合わせた講座内容となるよう実施する。 ・デジタル技術は特定の世代に限らず、将来の地域を担う若年層から現役世代まで、幅広い層にとって必須のスキルとなりつつあることから、多様な世代を対象に、基礎的な情報リテラシーの向上から、実社会で活用可能な情報スキルを学べる教育プログラムを開講し、デジタル人材の育成を図る。 ・令和8年度から「ジュニアIT人材育成事業」を統合し、事業名を「デジタルワークカレッジ運営事業」へ変更

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業							事業コード	030101430398		
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち					政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実			
	施 策 名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出					施策コード	711			
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課					所属長	阪根 孝則			
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	01社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	97	頁
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市高等技能訓練促進給付金事業実施要綱、福知山市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	児童扶養手当事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ひとり親家庭の親が就業に結びつきやすい技能やスキルの取得やキャリア形成により収入の増加が課題。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 資格取得期間中は収入が減少し生活困窮となる世帯がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ひとり親家庭の親が就業に結びつきやすい技能やスキルの取得、キャリア形成ができるよう給付金を支給する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること （1）高等技能職業訓練促進給付金 就業に結びつきやすい資格（看護師、准看護師など）を取得するための養成機関に修学中、生活の負担を軽減するために給付金を支給する （2）自立支援教育訓練給付金 教育訓練の受講のために支払った費用の一部を支給する

対象者	児童扶養手当受給者等	対象者数	501	単位あたりコスト	25.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
扶助費	11,553	自立支援給付金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	16,375	11,498	13,396	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	16,375	11,498	13,396	
予算財源内訳	① 一般財源	4,094	2,875	3,349	
	② 国支出金	12,281	8,623	10,047	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	55		
	② 配当予算	16,375	11,553		
	③ 執行額	14,427	11,553		
	④ 執行率	88.1%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.06 / 0.25	0.07 / 0.20	/	/
	② 概算人件費	1,180	1,120		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		15,607	12,673		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	母子家庭等対策総合支援事業	種類	民生費国庫補助金	実績金額	9,303	決算附属資料	16	頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	就職率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	9	14	11	9		
	福知山市高等技能訓練促進給付金事業を何人受けるか（当初見込）、何人が制度を受けたか（活動実績）	当初見込		10	10	14	11	11	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	ひとり親世帯の親に対して、就業に結びつきやすいスキルを取得するため、養成機関に就学中の生活費の負担を軽減するように給付金を支給する。 また、養成機関に通学しやすいように、本人が支払った受講料の一部を支給する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・現在８人の方が制度を利用し看護師資格又は准看護師資格等の取得を目指されている。 ・取得後は資格を生かして就職され、経済的自立や看護師不足の解消に寄与している。 ・高等技能訓練給付金受給中の方が、育児との両立が難しい・単位が足りないなどで資格取得までつながらないケースが発生している。
現状の課題に対する改善策	制度の積極的な広報を図る。 資格取得までつながるように、申請時の聴き取りや、状況の確認を丁寧に行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ふるさと就職おうえん事業							事業コード	070102320201	
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち				政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実			
	施 策 名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出						施策コード	711	
事業担当	所属	250500 産業部産業課				所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	162 頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 若者の都市部への流出や昨今の事業所の慢性的な人材不足など、市内の雇用情勢は日々変動しており、これらに即応する多角的な支援が必要である。求職者のスキル向上をめざしたセミナーや事業所と求職者のマッチング機会となる大規模イベントの開催、各種制度紹介などによる定着支援を行うなど、国や府、商工会議所、商工会、長田野工業センター、シルバー人材センター等の関係機関が一体となって取り組んでいる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 本市の有効求人倍率は京都府内でも高い水準で推移しており、少子高齢化や進学・就職等による生産年齢人口の減少により、地域内事業所の人材確保が困難な状況にある。地域内の事業所から求人がある一方で、高校生をはじめとする地域内の若者が地元企業を知らない現状がある。進学等で地元を離れる場合であっても、地元に働く場があることを知ることで、Uターンにつながるよう周知する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 高校生をはじめとする若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげるとともに、福知山地域の事業所と求職者との出会いの場を創出することで雇用の安定を図り、持続可能な地域雇用を実現をめざす。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇合同企業説明会を開催し、市内企業と一般求職者、UIJターン希望者等とのマッチング機会を提供する。 （京都北部5市2町合同企業説明会、ふくちやま就職フェスタ、福知山・綾部合同就職フェア、春の福知山就職フェアなど） 〇高校生向けの合同企業研究会（高校生JOB-EXPO）を開催し、市内の高校生に地元企業を知る機会を提供する。 〇北京都ジョブパークとの共催により、常時、各種セミナーやカウンセリングを実施し、市民の就業とスキルアップを支援する。 〇若手社員合同研修、企業ガイド、公正採用啓発、人権ふれあいセンターでのパソコン講座、就職支援セミナー及び個別就職相談会を開催する。

対象者	市内事業所・就職希望者	対象者数	—	単位あたりコスト	—
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 福知山雇用連絡会議、京都府北部地域連携都市圏）				
委託先・実施主体等	福知山雇用連絡会議、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	2	ファイル、上質紙			
負担金補助及び交付金	3,721	福知山雇用連絡会議負担金、 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,666	3,966	3,389	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	3,666	3,966	3,389	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	1,688	552	475	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,978	3,414	2,914	
決算情報	① 流充用額	0	2		
	② 配当予算	3,666	3,968		
	③ 執行額	3,390	3,723		
	④ 執行率	92.5%	93.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.61 / 0.20	1.03 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	5,440	8,240		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		8,830	11,963		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	ふるさと就職おうえん事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金）	商工費国庫補助金	431	17	
	ふるさと就職おうえん事業基金繰入（ふるさと就職応援基金）	基金繰入金	3,285	36	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	18	38	43	39		
	就職内定者数（福知山市内事業所）	目標値		40	40	40	40	40	
		達成度	%	45%	95%	108%	98%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	543	791	778	1,033		
	就職説明会参加者数	当初見込		200	500	500	500	500	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	求職者に対してイベントの周知のほか、就職活動支援として就職セミナーやパソコン講座等を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 〇本市の有効求人倍率は京都府下でも高い水準で推移しており、市内事業所にとっては人材不足が課題となっている。 〇近年のイベント開催時には、「高校生JOBーEXPO」、ふくちやま就職フェスタ、福知山公立大学生を対象とした「業界・企業研究会」は、参加者数が参加事業所数を大きく上回っているが、参加者数が参加事業所数を下回るイベントもあるため、参加者数を増加させるための広報手段、事業内容の強化が求められる。
現状の課題に対する改善策	〇イベントの認知度を高めるため、住民に対してチラシ、ダイレクトメールによるイベント周知を行う。 〇学生、一般求職者、仕事と家庭の両立を望まれる求職者などを対象とする合同企業説明会をそれぞれのニーズに合わせた形（対面とオンラインのハイブリッド式）で開催し、求職者と事業所のマッチングを図る。 〇大学生や高校生向けの業界・企業研究会を開催するとともに、企業ガイドを幅広く配布（福知山雇用連絡会議ホームページにも掲載）することを通じて、地元企業を広く知っていただく機会を設ける。 〇市内求職者に加え、市外からのUIJターン希望者にも魅力的な情報を届けられるよう、ハローワーク福知山や北京都ジョブパーク、近隣市、移住定住関連事業との連携を更に深める。